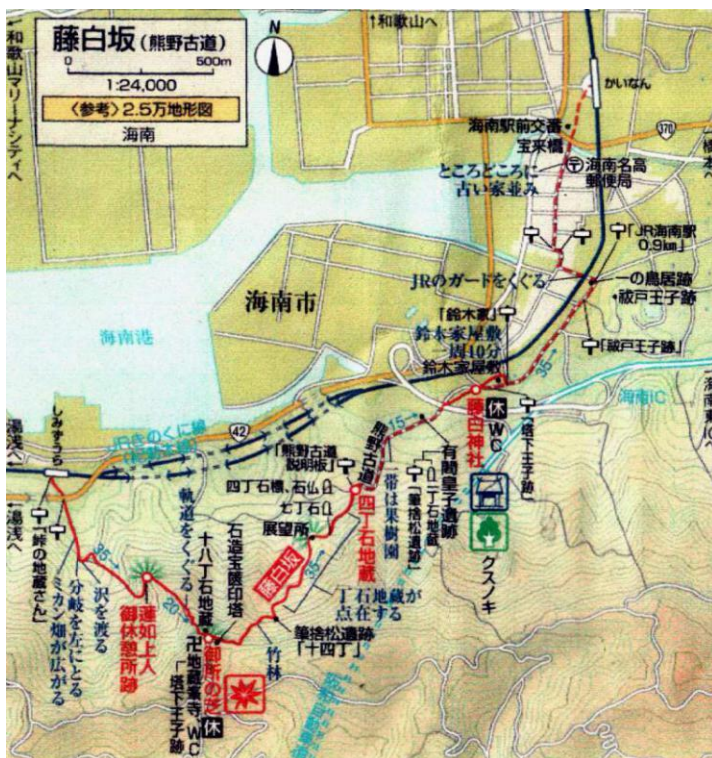




「森と海の自然科・第29回山歩きを楽しむ会」

歴史ロマンあふれる熊野古道（藤白坂）歩きの案内

- 1: 日 時 2025年12月16日(火) JR 海南駅改札口集合 10時10分集合
- 2: 目 的 海南駅から藤白峠を越えて冷水浦駅までの熊野古道歩き
- 3: 行 程 JR 海南駅・・安来橋・・一の鳥居跡・・祓戸王子・・鈴木家屋敷(見学)・・藤白神社・有間神社・・有間皇子の歌碑・・筆捨松・・藤代塔下王子(昼食・トイレ)・・御所の芝・・蓮如上人御休憩所・・JR 冷水浦駅(解散) 時間があれば紀三井寺駅から紀三井寺参拝
- 4: 山道状況 藤白峠までの道はやや急登で歩きにくいです。 また下山道は急降下で注意がいります。
- 5: 持ち物 弁当、水筒、雨具、ストック、その他
- 6: 行程距離 約5.0km 4時間 前日17時の天気予報で海南方面の降水確率40%以上の場合中止します。
- 7: 地 図 下記の地図参照 また、中止の場合は参加者の方にメールいたします。



今回の山歩き例会は熊野古道歩きで、その道中に藤白神社があります。神社内には有間皇子神社があり、近くには皇子の歌碑もあります。

有間皇子は孝徳天皇の第1皇子であり、天皇となる可能性がありましたが、父親が亡くなった後に天皇になったのは斉明天皇(重祚)でした。皇位継承に危機を感じた有間皇子は狂人を装い牟婁の湯(白浜)に湯治に出かけました。湯治から帰り斉明天皇に湯治を進めました。天皇は喜んで中大兄皇子らと牟婁の湯に行幸しました。天皇らが飛鳥を離れている間、蘇我赤兄の甘言に誘われ謀反を企てたが、捕らえられ牟婁の湯まで護送されました。その途中、磐代の地(白浜近く)で詠んだ歌が万葉集に残っています。殺されることを覚悟していたのでしょうかね?

「磐代の浜松が枝を引き結び

真幸あらばまた還り見む」

願いもかなわず、帰路中658年11月9日藤白神社近くの藤白坂で処刑されました。当年19歳でした。

万葉集の中にもう一つ下のような歌も残っています。



JR 海南駅



藤白神社



有間皇子の歌碑と墓

「家にあれば 筭に盛る飯を草枕

旅にしあれば椎の葉に盛る」

藤白神社の近くに「鈴木家屋敷」があります。この鈴木家は源義経の家臣で全国に「熊野信仰」を広めた200万の鈴木姓のルーツです。和歌山県史跡の「曲水泉」などの見事な庭園があります。入場料がいりますが、見学してみましよう。

鈴木家屋敷



当日担当 大石・森・李三